『事務所からこんにちは』

令和４年１月２４日　高松第二保育園

新しい年が明けたらと思ったら大雪が降り、子どもたちは大喜びで雪に触れながら遊んでいました。そして、もう１月も終わろうとしていますね。

先日、ひよこ組（０歳児）の子が、連絡帳を両手で持ちながらぴょこぴょこ歩いて保育士に渡す姿を見て、大きくなったな～という思いで見てました。

庭では、年長がだるまさんがころんだをやっているところへやって来たすずめ組（１歳児）の子どもたち。年長の担任のお尻にくっつくようにして、「だるまさんがころん…」で歩き、「だ！」で一緒に止まるので大笑い！ルールはわからないのに楽しんでいるところが可愛かったです。

はと組（２歳児）は庭でたくさん遊んだ後、必ず廊下にある展示食のところに来て「わ～い！カレーだー」とか「今日はおさかなだね」等と背伸びしながらみんなで展示ケースの中を覗き込んでは会話が盛り上がっています。まだまだ自分が！の年齢ではありますが友だちと共感できるようにもなってきています。

すみれ組（３歳児）の部屋に行くと、何やら真剣な話をしている２人の子どものそばに行ってみると、Ａちゃん「ぼくは今、ブロックで遊びたいから」と言うと、Ｂちゃん「私はＡちゃんと一緒にあそびたいの～」と言います。Ａちゃんは「じゃ、あとでね」と言いますがＢちゃんは今一緒に遊びたい様子。その後担任が来たので任せましたが、こんなふうに、自分の思いを言葉で表現できるようになったことに成長を感じました。

ちゅうりっぷ組（４歳児）は、毎朝ゆり組（５歳児）お当番の声が「今日の体操はあしたすきっぷと～」と放送で流れるとすぐに事務所の前に来てジッと見ています。今日が何の体操か楽しみしているのと、自分たちもマイクの前で言ってみたいという憧れもあるようです。時々ゆり組が早く園外に出かけると、代わりにちゅうりっぷ組の子どもが出席簿を集めて持って来てくれます。その時の顔が何とも言えず、私の顔がゆるみっぱなしでした。次は自分たちが年長だ！という自覚も出て来ています。

ゆり組（５歳児）はカレーを作りました。その日、Ｃちゃんは手にケガをしてしまって皮むきや包丁ができませんでした。担任はＣちゃんにも役割を作り、グループのみんながむいた皮を袋に入れる役となりました。私は、Ｃちゃんがみんなと同じことができないと悲しんではいないかと様子を見に行きました。すると、隣にいたＤちゃんと楽しそうに笑っています。様子を見ていると、Ｄちゃんは自分がむいた皮を袋に入れず、Ｃちゃんの手にちょこんと乗せるので、Ｃちゃんはそれがおもしろくてケラケラ笑っていたのでした。私の心配は取り越し苦労であったと同時に、子どもの力ってすごい！と改めて実感しました。そんなゆり組もあと少しで卒園です。

１月中旬位から新型コロナ感染が急激に拡大して来ました。それに伴い、１月に予定していた５歳児保護者会・コンサートと４歳児保護者会・発表会をどうするか職員とも話し合い、今は一旦見合わせることにしました。保護者の皆様におかれましては、ご都合をつけて頂いていたところ本当に申し訳ありません。新型コロナ感染症による保護者参加の行事の開催については、今までもその

都度検討をして来ました。昨年度の卒園式は、会場内は保護者１名にし、もう１名はテラスから見て頂きました。また、今年度の運動会は２名にするか４名にするか検討した結果４名までの参加にしました。保護者参加の行事については、区内の公立保育園でも対応の仕方に違いがあります。それは、高松第二保育園は園庭が広いから運動会も４名まで参加できた等、各園の環境や今では感染状況も考慮した上で判断しています。

このような状況の中で、高松第二保育園にできることは何か？を常に考えています。12 月下旬には、年長の青空コンサートをやり、保護者の方や近隣の方にも見て頂きました。子どもたちもたくさん拍手をもらってとても嬉しそうでした。

保護者会は難しくても発表会やコンサートは、会場で生の目で見て頂きたいと担任も私も同じ気持ちで、この辺だったらできるかな…とカレンダーを見ながら話をしています。今は、はっきりしたことが言えませんが決まり次第お知らせ致します。

先ずは、子どもと大人（保護者と職員）の安全を守り、休園を防ぐことと思っていますが、どんなに気をつけていても、いつ感染したり濃厚接触者になるかわからない状況です。でも、ワルイのはコロナであって誰も悪くありません。これからも感染予防しながら、おいしいもの食べて、休めるときはゆっくり体を休め乗り切っていきたいですね。

保育園では引き続き感染予防に努めて行きます。保護者の皆様もどうぞお体に気をつけてお過ごしください。

足立 孝子